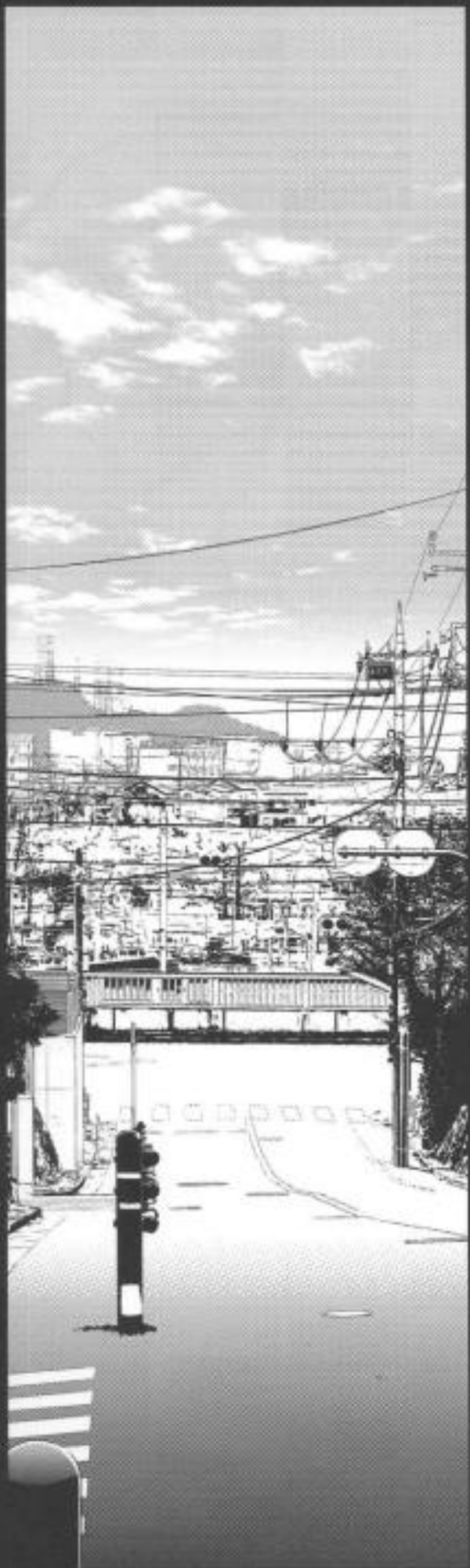




HK33E

私がお爺さんとの変態的行為に及んだ
3つの理由と3回の援助交際







ああこの
酸っぱい臭い

蒸れて発酵
してる…



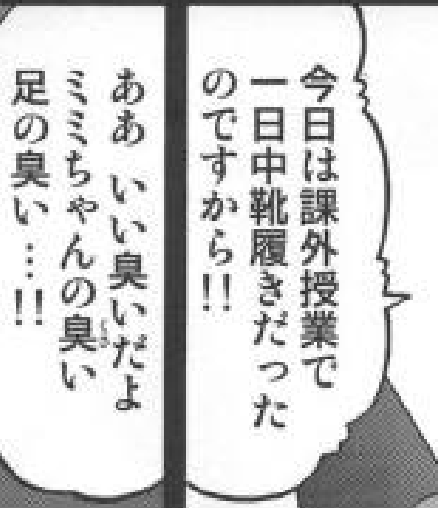
す
う
う



すん
すん



ナイロンの匂いと
混ざって…



ああいい臭いだよ
ミミちゃんの臭い
足の臭い…!!

今日は課外授業で
一日中靴履きだった
のですから!!



し仕方ありません
でしょう!!



ミミちゃん…



あなたのような人には
私の足でも勿体ない
くらいですわ

私の部屋には――



お爺ちゃんのも
反応してもうたよ

…変態
ですのね

さあ

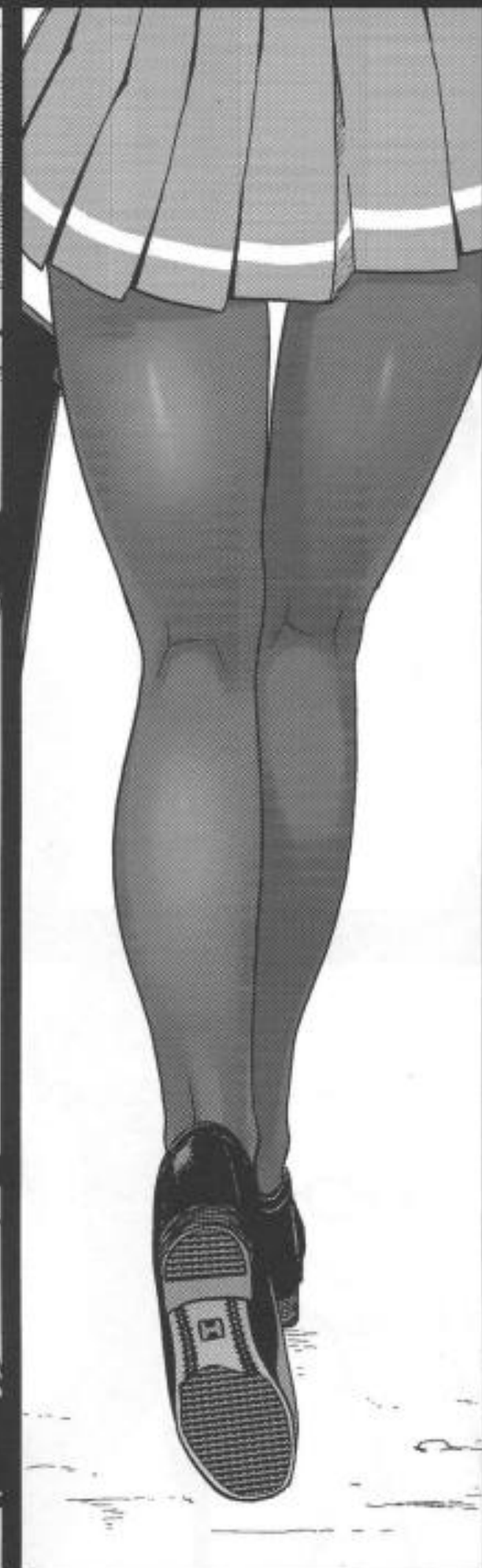
天使が来る

お舐めなさい

黒い脚の
天使だ

その天使を
見掛けるようになったのは
半年程前だった





その日から
僕の頭の中は――

彼女の脚の事で
いっぱいになった



僕は少しずつ
彼女との距離を
縮めていった！

彼女は年頃の娘らしく
悩みを抱えておつた

おそらく恋の悩みの
類いだろう

僕は――

それを利用した







自信回復のための
レッスンなのだ



足の裏も
疎かにしないで

指の間も丹念に
舐めなさい



ミミちゃんはもっと
自信を持って

気高く居るのが
似合っているよ



んっ

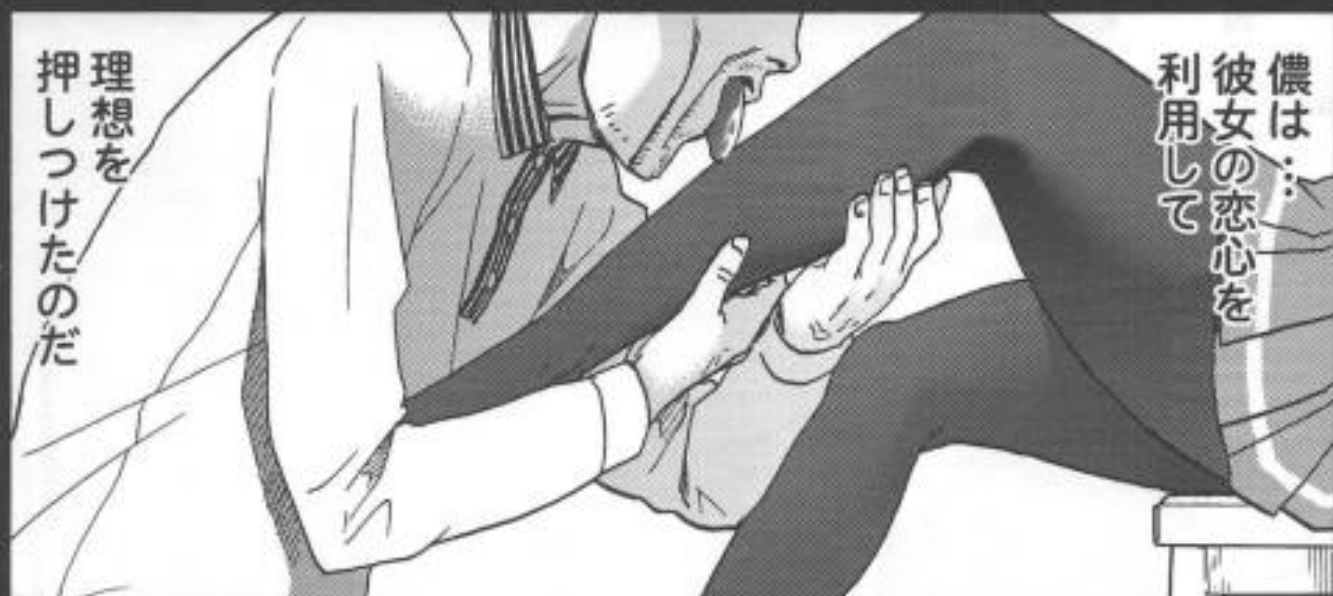


んっ



はあ

はあ



僕は…
彼女の恋心を
利用して

理想を
押しつけたのだ



己が欲望で
穢す

その喜びに
身震いするような
快感を覚える



はあ

はあ



高貴で

気高い
少女を



男根を
絶頂へ誘う

彼女の足は
まるで手のような
器用さで



年甲斐もなく
自分でも驚く程
大量に吐き出された
精液…



ウウツ



その精子達を
彼女の足が
踏みにじる

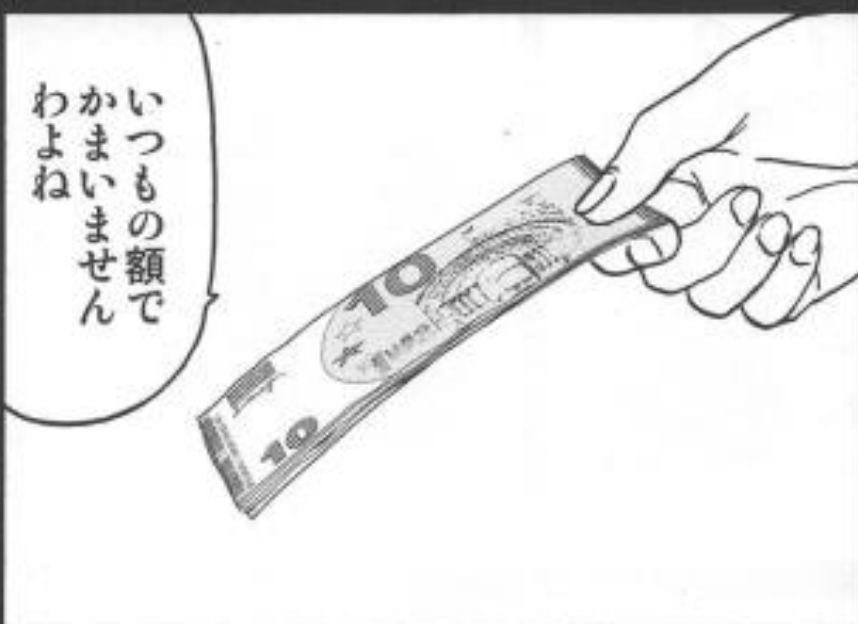


うっっ



これで三度目
ですけど

ミニちゃん
これ…



いつもの額で
かまいません
わよね



失礼します

ミニちゃん…

お金だけの
関係だと
釘を刺すように

パタン



これはレツスン
なのでしょう？

彼女は—

なら対価を
支払わねばこの関係は
成立しませんわ



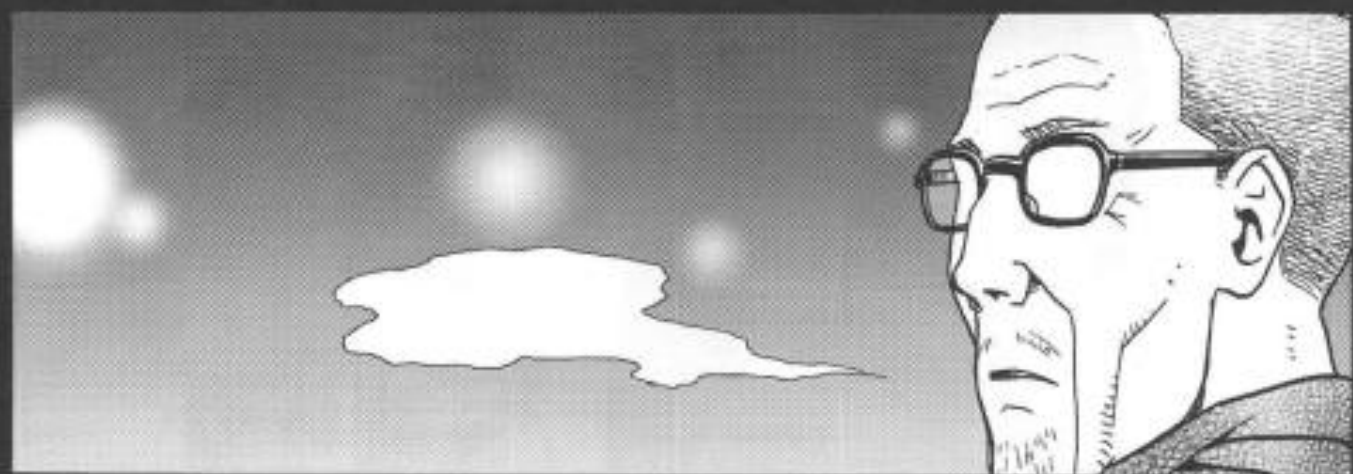
ユーロ…

使えないん
だけで



精液でじっとり
湿ったタイツを
踏みしめ帰ってゆく…



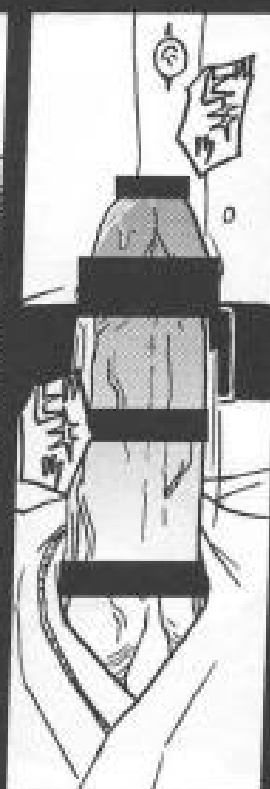
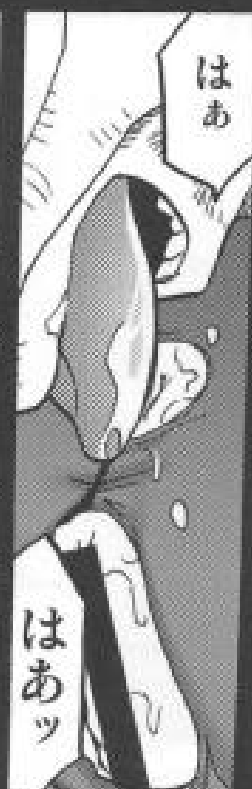


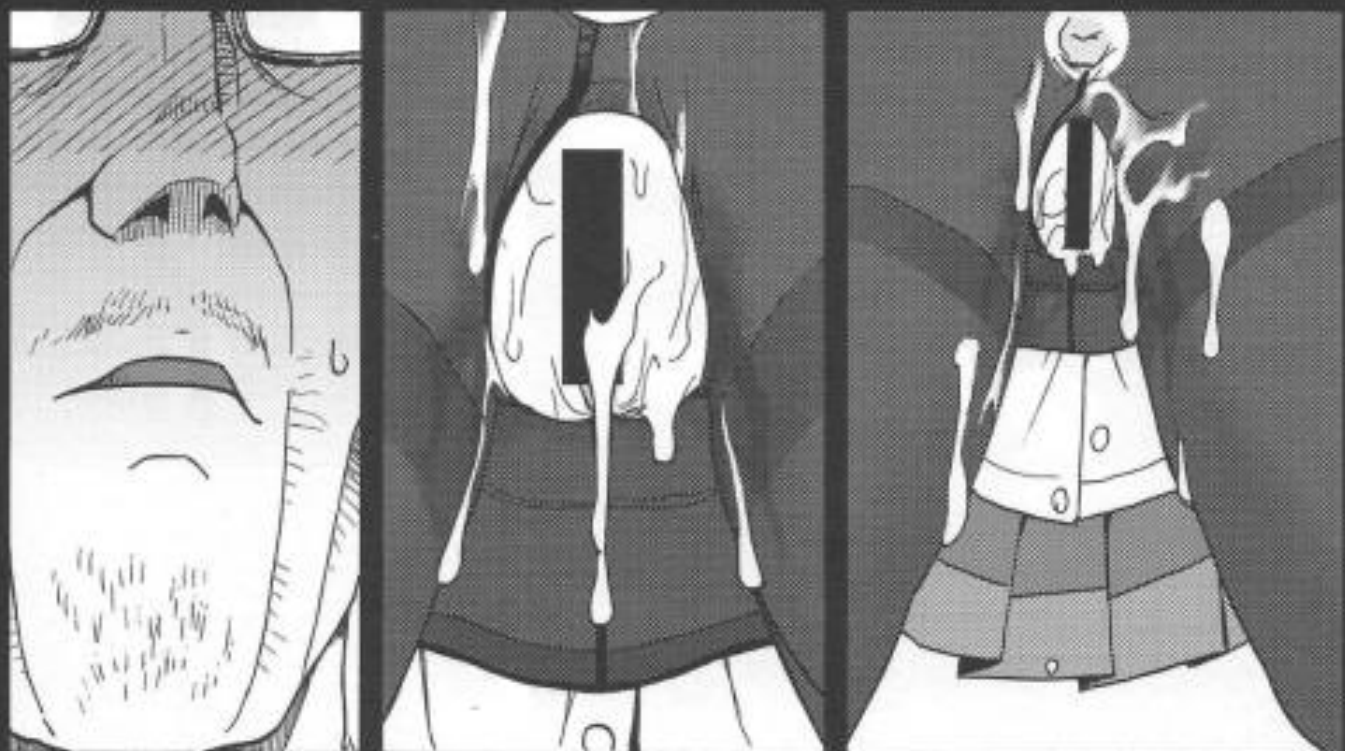












え…？
3つの理由…？

まあ…ひとつは
自分に自信を
もてるようになる
から…ですわね

ふたつめ
は…



なんか淋しそうぞ

ほっとけないの
ですわ

んっ

んっ



それは

嫉妬だったのだろう

ふっ…ん

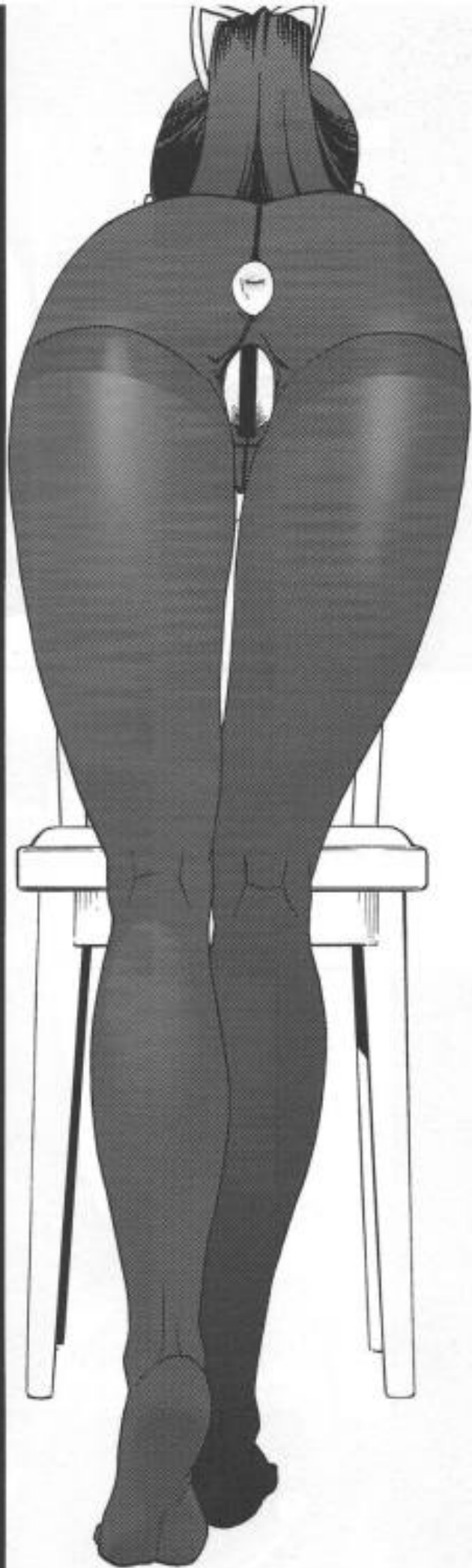


あれはただの
級友かもしれん

そもそも
彼女の恋愛に口出し
できる立場ではない



それでも
俺は



この天使を

奪われなくなかった



だから

僕は







堕天させる為に



この天使を



ゴッホ



3つめ……？

3つめは——

気持ちいいから

なんて口に
出せませんが

え？

え？

!?!?

いま
聞こえ……？

忘れ
下さ
いで

……

Wakuwaku Doubutsuen
2015 WINTER

